

(5) 心にゆとりを感じるまちづくり

新規 晴海臨海公園管理事業

19,770千円

(担当:都市計画課)

市内の方はもとより市外の子どもからお年寄りまでの多くの方が訪れ、楽しめる、スポーツやレクリエーションの場を提供します。

新規 大竹会館耐震診断事業

6,300千円

(担当:生涯学習課)

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に基づき、耐震診断の実施と結果報告が義務付けとなる大竹会館の旧館部分の耐震診断を実施します。
※事業費には事務費を含みます。

新規 アゼリアホール天井改修事業

39,045千円

(担当:生涯学習課)

地震時の安全対策のため、アゼリアホールの吊り天井の脱落を防止する改修を行います。
※事業費には事務費を含みます。

拡充 無形文化財伝承者育成事業

200千円

(担当:生涯学習課)

伝統的に地域で育まれてきた無形文化財を後世に保存・継承するため、後継者の人材育成を支援します。

環境美化推進事業

3,000千円

(担当:環境整備課)

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。
また、ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

地域不法投棄対策事業

9,313千円

(担当:リサイクルセンター)

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係課との緊密な連携を図るとともに、地域住民の皆さんの協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

このため、不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設の監視カメラの設置効果等の検証による計画的・実効的な増設などに取り組みます。

また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

ごみ減量化・資源化促進事業

16,100千円

(担当:リサイクルセンター)

一般家庭から排出されるごみの減量化を図ることなどを目的に、平成25年10月から「もやすごみ」及び「粗大ごみ」にごみ処理手数料を導入しました。今後、引き続きごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の3Rの実践について、広く周知・啓発するなどの取り組みを積極的に推進します。

具体的には、適正な分別の徹底や資源としての有効活用に関する取り組みの「ごみ収集カレンダー」及び市広報への掲載、生ごみ処理容器の普及・促進などにより、家庭ごみの減量化に取り組みます。

小方学園プール開故事業

4,500千円

(担当:生涯学習課)

小方学園のプールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。